



発行
日本共産党
春日部市委員会
春日部市粕壁東
6丁目7-12
電話 748-5159
FAX 748-5179

物価高騰が市民生活を直撃

くらしと営業を温める施策を

9月定例市議会です令和4年度一般会計決算について、並木としえ議員は市の財政状況などについて質疑しました。

市民平均所得は

323万8720円

令和4年度は、コロナ感染症の感染拡大が続き、さらに物価高騰が追い打ちをかける中、市税収入は個人分、法人分ともに前年度より増額となりました。

コロナによる行動制限は続いていましたが、経済活動が再開したことにより、給与所

得が1・9%、営業所得は12%増加したということです。

増加したとはいえ、春日部市の市民一人当たりの所得は323万8720円に対し、県平均は359万4582円で、県平均より35万円以上低いことが明らかになりました。

法人分はサービス業、運輸業、通信業などで増加し、市内の法人市民税の申告事業者は前年度より百社以上増えましたが、一法人当たりの納税額では30万6986円から30万7828円、わずか842円の微増にとどまっています。

市財政は38億の黒字 貯金増え借金は減少

コロナ対策の国からの交付

金は、前年度より減少しましたが、実質収支が38億円を超える黒字となり、財政調整基金は前年度よりさらに増えて51億7103万円となりました。新庁舎建設などで借金もしましたが、借金残高は令和3年度末680億2011万円でしたが、10億円以上減っています。このうち480億円程度はのちに国から交付される見込みで、市が返済すべき残高は189億円程度です。

並木としえ議員は「市の財政は、38億円の黒字の上、貯金が増え、借金は減って、市民サービス向上の財源は十分にある。コロナ禍から回復基調にあるとはいえ、物価高騰が市民のくらしと営業を直撃している中、市は予算を

大幅に使い残すのではなく、くらしと営業を温める施策を展開する必要があったのではないかと指摘しました。

特殊詐欺被害

8425万円にも

決算審議を通じてマイナンバーカードは申請率81・1%、交付率62・2%、返納は令和5年度に入り13件あったことが分かりました

特殊詐欺の被害は39件、被害総額は8425万円に上り、被害防止のために街頭防犯キャンペーンを14回実施したということです。

市職員数、女性管理職ともに増加していますが、他市と比較すると職員一人当たりの市民数は267人で上尾市と同率で最下位。女性管理職比率も244人中17人(7%)で40市中最下位となっています。職員の増員と女性管理職の登用は急務です。



2022年度(令和4年度)介護保険特別会計決算 質疑

2023年度末基金10億円で保険料の引き下げを

8月30日、大野とし子議員は「2022年度(令和4年度)春日部市介護保険特別会計決算」について質疑を行いました。

所得の低い方に重い

介護保険料

2022年度は「第8期介護保険制度」の中間の年で、来年からの「第9期介護保険制度」に向けた重要な決算となります。

現在国は、①要介護1、2の方の介護保険外し②利用料2割負担、3割負担対象者の拡大③ケアプランの有料化④介護用品の購入など介護保険制度を改悪することをねらっています。

市民の皆さんの負担になっ

ている保険料や利用料の軽減を求めました。

第8期の基準保険料は月5400円で県内順位63市町村中27位です。保険料の滞納者は本人非課税となる第1段階から第5段階まで約63%です。所得の低い方に重い負担となっています。

2023年度末見込みの基金残高は約10億円です。基金を活用し、第5段階までの保険料の引き下げ、その他の段階も据え置くとを求めました。

また、ケアマネージャー

介護度別認定者数

要支援1	1217人
要支援2	1398人
要介護1	2689人
要介護2	2247人
要介護3	1957人
要介護4	1624人
要介護5	1122人

の「必要な介護を受けさせてあげたいが利用料がかさみ受けられない。市独自の軽減制度がほしい」との声を取り上げ、利用料の軽減を求めました

健康保険部長は「低所得者の保険料は軽減制度もあり、低く抑えられていると考えている。」と引き下げの考えは示しませんでした。

要支援1、2の方に必要なサービスを

2016年度から、国は要支援1、2の方の訪問介護、通所介護を介護保険制度から外し、市が取り組む「介護予防・生活支援事業」としました。

事業を開始した時から、必要な方に必要なサービスをの理念のもと、サービスを緩和しないことを求めました。今後も利用者の

意思を十分確認しながら、必要なサービスを提供していくことを確認しました。

介護予防の充実で、高齢者の健康保持を

必要なサービスを提供することと同時に大切なことは、介護にならないようには、介護予防事業に取り組むことです。

高齢者が身近なところで体操したり、おしゃべりしたりすることは大切なことと考え、今回はそらまめ体操の充実について取り組みました。

現在9か所で行い、公共施設を使用しているのが無料ですが、集会所などで市民が自主的に行うと場所代等がかかります。市として自主的な取り組みにも財政的支援を行い、拡充していくことを求めました。



市立医療センター TEL735-1261(夜間毎日、土・日・祝日)内・外科系 小児救急電話相談 #7119
9/10(日)東都春日部病院(内科系) (外科系) 大畑652-7 TEL739-2000 宇野クリニック
(小児科系) 粕壁1-6-5-2階 TEL760-3711
9/17(日)村松医院(内科系) 六軒町549 TEL735-6800 ,ますだ春日部クリニック(小児科系)
中央4-8-12 TEL606-3101 杉浦眼科・豊春分院(外科系) 上蛭田259-2 TEL754-2333